

保護者様

愛知県立春日井高等特別支援学校長

橋部 和典

学校における薬の取り扱いについて

日頃は、本校の教育活動に御理解、御協力いただきありがとうございます。

学校での薬の使用は、保護者からの依頼に基づいて行っていますが、医療用医薬品を取り違えないようにしたり、学校内で医療用医薬品を使用又は使用の介助を適切に行ったりするために、以下の内容について御理解と御協力をお願いします。

1 学校における医療用医薬品の取り扱い

(1) 学校で使用する薬について

医師が本人へ処方したものに限り、市販薬や症状に応じて使用の判断が必要な薬（頓服薬）は、安全面から使用することができません。

(2) 教職員による医療用医薬品の使用の介助について

学校では教職員が生徒に医療用医薬品を使用することは行っておりません。ただし、保護者等から提出のあった書面に従って、緊急性が高いアレルギー症状があると判断した場合に、アドレナリン注射液（エピペン®）、てんかん発作を起こした場合にジアゼパム（ダイアップ®）などの坐薬及びミダゾラム口腔液（ブコラム®）を使用する場合があります。

(3) 医療用医薬品の使用の介助の条件について

教職員による医療用医薬品の使用の介助については、医師、歯科医師又は看護職員が、患者の状態が以下の3条件を満たしていることを確認し、教職員による医療用医薬品の介助ができることを本人又は家族に伝えている場合に、医師又は歯科医師の処方及び薬剤師の服薬指導の上、教職員が行います。

<医療用医薬品の使用の介助の3条件>

- ①患者が入院。入所して治療する必要がなく容態が安定していること
- ②副作用の危険性や投薬量の調整等のため、医師又は看護職員による連続的な容態の経過観察が必要である場合でないこと
- ③内容薬については誤嚥の可能性、坐薬については肛門からの出血の可能性など、当該医薬品の使用の方法そのものについて専門的な配慮が必要な場合ではないこと

(4) 自己管理・自己服薬ができる場合の対応について

本校では、給食の後など時間を決めて服用するアレルギーや風邪薬などの常用薬については、連絡帳で担任に連絡の上、自己管理・自己服薬する対応を行います。

市販薬や症状に応じて使用の判断が必要な薬（頓服薬）は、薬の用法・用量などを意識することや自己による服薬判断が、適切でない場合が見受けられることから、安全面を優先して自己管理・自己服用を認めていません。

しかしながら、頭痛や生理痛など服薬の判断が明確な症状については、保健室で薬を預かり、本人と具体的な症状を確認し、適切な薬との付き合い方などを卒業後の自立に向けて個別保健指導の機会としながら服薬する対応を行う体制を準備していますので、個別に御相談ください。

※保護者からの依頼だけでなく、学校での実際の生徒の実態を踏まえて対応を判断します。

2 医療用医薬品の管理・補助が必要な場合の提出書類

- 「服薬等管理・補助依頼書」
- 「医療用医薬品の説明書の写し」

3 注意事項

- (1) 服薬時間について、主治医に相談の上、学校生活時間以外に変更できるものがあれば御協力ください。（例：1日3回の薬を1日2回（朝・夕）にしてもらう、服用時間を朝・下校後、就寝前の3回にする等）
- (2) 学校に薬を持参する際は、服薬のミスを防ぐために、1回分ずつに分けて、生徒名を記入してください。様々なトラブル回避の観点から、処方された全ての薬を持参するのではなく、その日に必要な薬のみ持参するようにしてください。
- (3) 初めて処方された薬は、副作用がでる可能性があるため、必ず御家庭で服用の機会を設けてください。
- (4) 薬の内容（種類・量）に変更があった場合は、学校へお知らせください。
- (5) 薬に関する各書類の有効期限は年度末とします。新年度には、新しい用紙と薬を再度提出してください。
- (6) 薬の使用・保管についての御相談は、担任また保健室にお申し出ください。

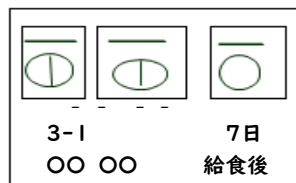
【参考：薬の提出方法】

常用薬を服用する場合

*市販薬、家族への処方薬不可

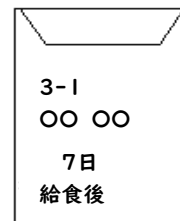
必ず医師が、本人に処方したものを提出してください。1回分ずつに分けてホッチキスで紙に止めるか、小袋（チャック式ビニール袋等）に入れ、クラス・氏名・飲む時間を明記して提出してください。

(例)



ホッチキスで紙に止める場合

(例)



小袋に入れる場合

頓服（とんぷく）薬を提出する場合

*市販薬、家族への処方薬不可

必ず医師が、本人に処方したものを提出してください。

「服薬等補助・管理依頼書」に使用方法の説明や配慮事項等が必要な場合は、記入してください。また、使用に介助が必要な場合は、あらかじめ御相談ください。

とんぷく 頓服薬記入例

病名・症状	薬品名と量	服薬方法
生理痛	ロキソニン 1回1錠	本人が生理痛を訴えたら服薬させる。できるだけ食後が望ましい。1日2回まで。6時間以上間隔をあけて使用する。